

第5回香美町香住区就学前施設再編検討委員会 会議録

日 時：令和7年3月27日（木）19:30～

場 所：香美町役場 3階 大会議室

出席者：同検討委員会委員

出席13名（教育長を含む）、欠席5名
事務局 5名

1. 開会

2. あいさつ（教育長）

3. 報告事項

なし

4. 協議事項

※特定の個人・他の行政組織等に関する発言等は掲載を控えています。

(1)香住区就学前施設再編のあり方（定員数・設置箇所）に関する事務局案について

【香住区自治会代表】定員数については、公立認定こども園が最大45名、私立認定こども園はそれぞれ90名。定員増になった場合は、3つの認定こども園で、調整すればよいのではないかと思う。設置箇所については、私立認定こども園は香住エリア、現在の柴山保育所のように佐津、奥佐津、柴山は柴山がよい。

【主任児童委員】定員数は過去の利用者のデータから見ても適切であると思う。設置場所も特に公立認定こども園を柴山にということだが、これも過去の利用者のほとんどが奥佐津、佐津、柴山地区であることを見て、これでほぼ妥当であると思う。

【主任児童委員】設置箇所について、公立は柴山がよい。定員数についても賛成。民生委員から、里帰り出産の途中入所を受け入れてもらっていることがありがたい。今後の定員について、里帰り出産の際の受け入れについても配慮してほしいという意見があった。

【柴山保育所長】 基本的には事務局案でよい。

【柴山保育所保護者代表】 保護者アンケートを実施し、基本的にはいずれも了承である。その他として、将来、香住小学校へ行くことに備え、小学校のお兄さん、お姉さんの姿を見ることが、成長につながるのではないかという意見があった。小学校との縦のつながりや横のつながりを大切にしてほしいという意見があった。

【みなと保育園長】 事務局案で賛成。

【みなと保育園保護者代表】 実際に令和10年に子どもを預ける方にも聞いてみたところ、定員数は賛成。設置箇所も問題はないが、災害対策等をしっかりしてほしいという意見があった。

【青葉保育園長】 事務局案に賛成。

【青葉保育園保護者代表】 定員数は利用状況を踏まえているので賛成。設置箇所についても賛成。ただし、令和10年度以降の少子化の進行状況を見て、調整する、考える必要がある。公立を柴山に設置するにあたっては、既存施設を利用するのであれば、費用的にも抑えられるのでよい。

【事務局】 以前から、10年先、20年先、もっと先まで大丈夫かという意見は出ている。今後の少子化を想定して提案しているが、少子化が早まるのか鈍化するのかははっきりしないものでもある。今回は令和10年度のこどもの数を想定し、再編をスタートすることとした。指摘のとおり、さらに10年、20年先となると、さらに再編を考える必要が出てくるかもしれない。子どもの数を注意深く見ていかなければならない。

【香住幼稚園保護者代表】 私立両園は新築するということか。その場合、国、県、町からの補助金等の手続きはこれからか。また、子どもの数がどんどん減少している中で、令和10年度の数で定員を決めるということだが、「5年後はさらに子供の数が減った。またさらに5年後に減った。」となると、3園要るのかという意見があった。

すでに私立の認定こども園の建設が香住エリアに決まっているからと言って、公立の認定こども園が柴山エリアになることは、納得がいかない。公立のメリットとして、香住小学校の近くに建設してほしい。やはり、小学校の近くに認定こども園があり、小学生が近くにいることが子どもたちにとって大きな影響となる。公立を柴山地区に建

てたとして、地震や津波などの災害のこともあり、そうしたメリット・デメリットも十分把握できていない状況であり、柴山地区に公立を設置することは、子どもたちのことを考えると賛成できない。

定員数については、公立の認定こども園の定員が私立の半分になっている。香住や豊岡から公立認定こども園を利用する子どもがいるかもしれない。あと10人程度は公立認定こども園の定員を増やし、私立は5人程度減らしてもよいのではないかという意見があった。

【事務局】両園とも新築予定。新たに建設されるにあたっては、この認可定員が施設の規模や国の補助金の額等に大きく影響する。認可定員に基づいて、両園が認定こども園の規模や設備をどのようにするか設計していくことになる。

【香住幼稚園保護者代表】事務局案で賛成。

【香住幼稚園長】設置箇所については、先ほど意見もあったが、小学校がすべて香住小学校に統廃合されるので、同じところに公立の認定こども園を設置し小学校とつながっていくのがよいのではないかと思うが、事務局案で仕方がない面もあると思う。

ただ、公立認定こども園の定員数については、柴山だけの子どもの数の推移を考えて設定してあるが、現在も他地区からの利用もあるので、増やしてもよいのではと思う。香住の方も香住幼稚園を残してほしいであるとか、公立の認定こども園へ行きたいという方もある。こうした方が利用できるような定員数にしてもらいたい。

【事務局】公立の認定こども園を小学校の近くに設置することで、小学生のお兄さん・お姉さんの姿を見て育つのがよいという意見があった。認定こども園と小学校の繋がり、連続性が重要性であることは言われているところである。公立だから小学校との連続性・繋がりが取組ができるということではなく、事務局としては私立・公立に関係なくこうした取組の機会を作っていかなければならぬと考えている。以前、説明した就学前施設のスタンダードカリキュラムを策定し、村岡・小代も含め町内全就学前施設を対象に小学校への繋がりを大切にする取組を進めていきたいと考えている。

また、定員については、確かに多ければ多いほど受け入れができるということになるが、建設時に町内在住者の数を最優先に考慮し、過大な施設規模としないことが求められる。他市町からの里帰り出産に伴う利用についても、各園の定員に空きがあれば受け入れ可能なのだが、まずは住所地の施設を利用することが大前提となる。例えば、年間5人の里帰り出産を想定し、増員するということがなかなか認められない。まずは令和10年度の再編スタート時に過大な定員数を設定することはできない。

以下、欠席委員の意見

【香住幼稚園保護者代表】定員数については、公立認定こども園の定員数が佐津・奥佐津の人数しか見込んでいない。香住からの利用希望人数が含まれていない。公立認定こども園の人数を少し多くするなど、人数の内訳を検討されたい。

公立認定こども園の設置箇所については、小学校の再編に伴い、香住小学校に香住区内すべての小学校が集約される中で、公立認定こども園を柴山に置くことに反対する。香住幼稚園を増築するなど、香住幼稚園の建物を生かしてほしい。

その他として、子どもの数の減少が著しい中で、再編後の5年度に再々編し、「子どもの数が少ないのでやはり1箇所に・・・」ということがないように、20年後、30年後を見越した再編をしてほしい。

【柴山幼稚園保護者代表】定員数については、住所地に基づく施設ごとの入所申込の制限がないのはよいことだ。定員数自体は事務局案でよい。柴山保育所の今の施設で1学年人数が増えると施設が小さく感じる可能性があるので、職員室を入口の門側（浦上側）に増設し、スペースの確保ができればよい。現、駐車場のスペース、スポーツパークの駐車場としての範囲がいまいで、保育所行事の際に老人会や上計地区の行事と重なれば置けなくなることもあるので、定員数と駐車場は大事なことである。

設置箇所については、事務局案のとおり、柴山に公立認定こども園を置くことに賛成。今のとおり、佐津、奥佐津、柴山の利用者も、香住在住で柴山に働きに来ている方にとっても「送迎しやすい」などもあるので、使いやすい園を選択できる。少子化でいつ園を減らすかわからないので、既存の施設を使えるのもよいと思う。

その他として、現、柴山保育所は遊具等も大きな子ども向けの物はなく、数も少ないので、園庭の再考察をしたらよい。（プールなどはなくし、柴山小学校の物を利用できないかなど）

【長井幼稚園保護者代表】定員数については、これまでの利用状況や今後の利用園児の推移を踏まえた上で定められた人数になっているので、賛成である。

設置箇所については、奥佐津、佐津、柴山の園児が通いやすいこと、香住地区に認定こども園を集中することを避けるために柴山地区に認定こども園を設置するということはよい。ただ、その中で香住小学校と公立認定こども園の設置場所が離れてしまうと連携が取りにくいのではないかという不安がある。

【公募委員】定員数及び設置箇所ともに、事務局案どおりでよい。

○事務局案に係る採決の結果

①定員数

- ・事務局案「私立２園は９０人、公立１園は４５人とする。」
- ・採決 出席委員 承認１２人、否認０人

②設置箇所

- ・事務局案「私立認定こども園２園は香住地区に設置する。公立認定こども園は柴山地区に設置する。」
- ・採決 出席委員 承認１１人、否認１人

以上をもって、香住区就学前施設の再編に係る「認定こども園の定員数及び設置箇所」については、事務局案を同検討委員会の案とすることに決定した。

(2)その他

これまで香美町香住区就学前施設再編検討委員会で検討してきた「香住区就学前施設再編のあり方（案）」をまとめ、香美町総合教育会議に提案することとする。

5. その他

(1)新年度への移行に伴う委員の交代等について

(2)次回開催について

6. 閉会